

Design for Life

地域が変わるものづくり

「シリーズ:適正技術 Design for Life」では、国内外での社会貢献、ものづくり、ビジネスの領域をつなぐ「適正技術」について、ワークショップや実践を通じて考えていきます。

日時: 12月19日(木) 18:00~20:00

場所: 大阪大学ステューデント・commons 2階
マッチングセミナー室(豊中キャンパス)

(<http://www.cscd.osaka-u.ac.jp/access/toyonaka.php> 同建物の2階となります)

ゲスト講師: issue+design 代表 寛裕介

ファシリテーター: NPO法人ミラック 代表理事 西村勇也

issue+design 代表 寛裕介

1975年生まれ。一橋大学社会学部卒業。東京大学大学院工学系研究科修了(工学博士)。1998年(株)博報堂入社後、社会課題をデザインの力で解決するソーシャルデザイン領域の研究、実践に取り組む。2008年山崎亮他とともにissue+design project設立。著書に、『地域を変えるデザイン』『震災のためにデザインは何か可能か』など。「できますゼッケン」にてグッドデザイン賞(2011)、「親子健康手帳」にてグッドデザイン賞・キッズデザイン賞審査委員長特別賞(2011)、「震災+design」にてグッドデザイン・フロンティアデザイン賞(2010)、日本計画行政学会・学会奨励賞(2011)他受賞。

NPO法人ミラック 代表理事 西村勇也

大阪大学大学院にて人間科学(Human Science)の修士を取得。人材育成企業、財団法人日本生産性本部を経て、NPO法人ミラックを設立。2008年から始めたダイアログBarの取り組みには2年半で1500人が参加。2011年よりソーシャルビジネス事業者、NPOリーダーを中心に、大学教員、行政職員、企業CSR、デザイナーなどが加わるソーシャルイノベーションのプラットフォームづくりの取り組みを開始。各地で、次世代を担う社会的なリーダー&イノベーターの育成とセクターを超えた協力を生み出すためのマルチステークホルダーの対話の場づくりに取り組む。



主催: 大阪大学コミュニケーションデザイン・センター(CSCD)
共催: 大阪大学グローバルコラボレーションセンター(GLOCOL)、
大阪大学大学院国際公共政策研究科(OSIPP)稲盛財団寄附講座、
公共圏における科学技術・教育研究拠点(STIPS)、NPO法人ミラック
協力: 大阪大学21世紀懐徳堂

参加対象

大阪大学学生(学部学生・大学院学生) / 大阪大学教職員 / その他の大学学生、一般(とくに「地域が変わるものづくり」の実践に関心がある方)
・定員: 50人 ・参加: 無料、事前申し込み要

申込方法

メールにて、件名に「12/19ワークショップ参加」/本文中に1)お名前、2)ご所属 / をご記入の上、宛先: stips-info@cscd.osaka-u.ac.jp (★を@に置き換えてご送信ください)までお送りください。

第1回ワークショップ

日時: 2013年10月11日(金) 18:00~20:00

場所: 大阪大学 豊中キャンパス

ゲスト講師: 一般社団法人re:terra(リテラ) 代表 渡邊さやか

ファシリテーター: NPO法人ミラック 代表理事 西村勇也

【第2・3回WSも担当】

第2回ワークショップ

日時: 2013年11月21日(木) 18:00~20:00

場所: 大阪大学 吹田キャンパス

ゲスト講師: NOSIGNER株式会社

代表、デザイナー・アーキテクト 太刀川英輔

第3回ワークショップ

日時: 2013年12月19日(木) 18:00~20:00

場所: 大阪大学 豊中キャンパス

ゲスト講師: issue+design 代表 寛裕介

フィールドワーク & デザインセッション

日時: 2014年2月23日~24日

場所: 滋賀県高島市

内容: 学生による「地域が変わるものづくり」の実践